MAQ-105　FV46　2026年10月1日発行
＊MAQ105＊

LIXIL

ラフィス アルミ建具ドア ライン枠　取付説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠警 告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠注 意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠警　告

●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。医療機器誤作動のおそれがあります。
（1）体内埋込型機器
（2）生命維持用機器
（3）装着型心電計等

⚠注　意

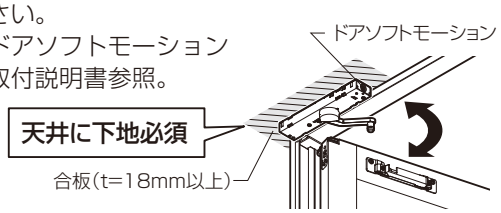
●本体脱落のおそれがあるため下記事項をお守りください。
・上ヒンジの軸は枠ヒンジの穴に差込んでください。
・脱落防止カバーは上ヒンジの軸の溝に合わせて取り付けてください。
・下ヒンジは床に接地させてください。

保管・施工前のお願い

●取付後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付前にお買い求め店までご連絡ください。
●本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
（直射日光があたる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い）
●壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
●本体部品の損傷・開閉不良防止のため落下させたり衝撃を加えないでください。
●テープを表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
●ソリ・ねじれ防止のため、立てかけての長期保管はせず、寝かせた状態にしてください。
●本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

●ドアソフトモーションの取付けについて

ドアの施工後に取り付けます。
取付位置の天井には必ず下地（合板t=18mm以上）を入れてください。
※詳細はドアソフトモーション同梱の取付説明書参照。



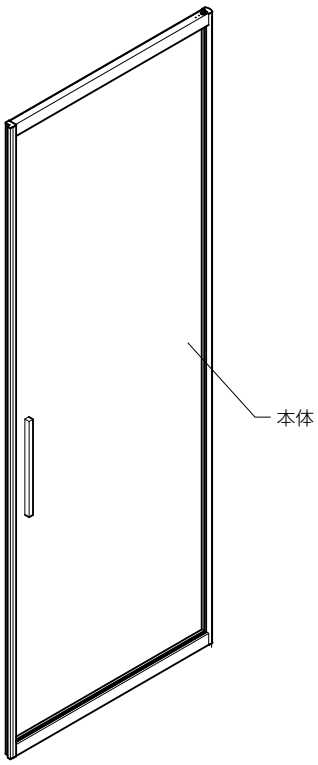
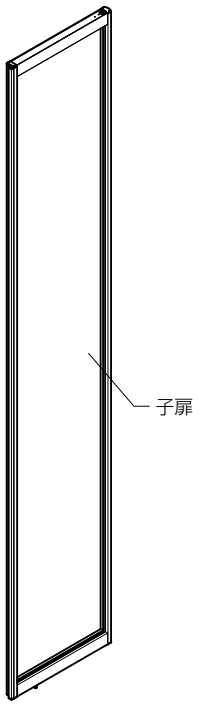
重要チェック項目

Check!

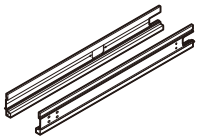
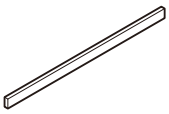
No.	チェック内容	
1	躯体開口寸法を指定通りにしましたか？（開口W公差 +4、−0）	□
2	枠側下ヒンジは床に接地していますか？	□
3	上ヒンジの軸は奥まで入っていますか？	□
4	上ヒンジの脱落防止カバーを取り付けましたか？	□

このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

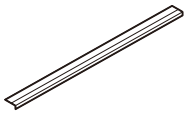
■部品・部材明細

扉本体	子扉本体
	※親子ドアのみ 

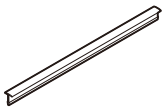
●縦枠部品・部材明細

部材	断面図	数量
縦枠 		2
縦枠カバー材		2
縦枠下地材 		4
縦枠上部ピース	–	2
部品セット	–	1

●上枠部品・部材明細

部材	断面図	数量
上枠 		1
上枠端部ピース	–	2
部品セット	–	1

●別売品明細

部材	断面図	数量
薄床見切り 		1

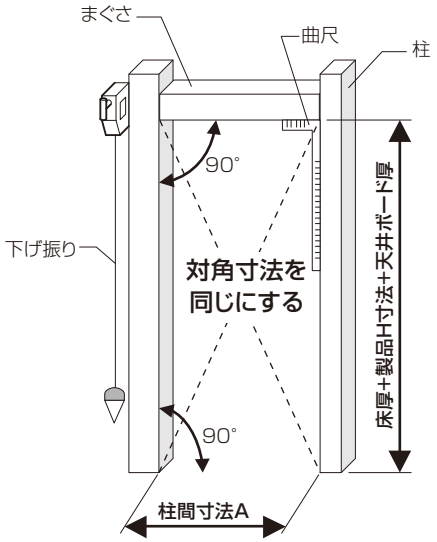
本取付説明書に記載のない別売品の取付けは各部品同梱の取付説明書を参照してください。

1 開口部の施工

開口部施工上のお願い

●開閉不良防止のため、以下のことを行ってください。
・柱間寸法公差(＋4,－0)を守ってください。
・幅特寸時は特寸W寸法を確認してください。
・下げ振りを使って柱が垂直になるよう設置してください。
●製品不具合防止のため、全て含水率20%以下の材料を使用してください。
●【軽量鉄骨に施工する場合】
施工不良防止のため、必ず木枠を入れてください。

①柱間寸法Aが下表の寸法になるよう柱を設置してください。
②縦枠現物合わせでまぐさを施工してください。



●標準ドア　**寸法A公差：＋4mm、－0mm**

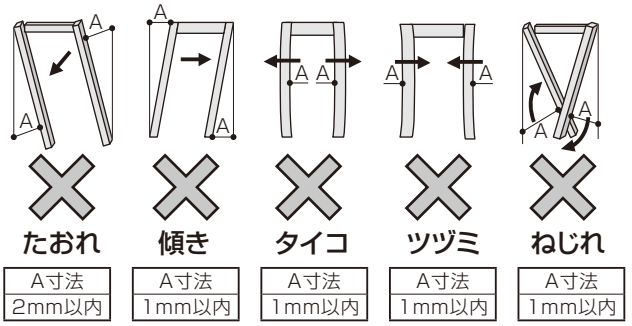
W呼称	枠外W寸法	寸法A
055	648	648
06	734	734
065	754	754
07	805	805
08	824	824
09	868	868

●親子ドア

W呼称	枠外W寸法	寸法A
12	1188	1188

※特寸時はそれぞれの枠外寸法を確認してください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、製品不具合につながります。



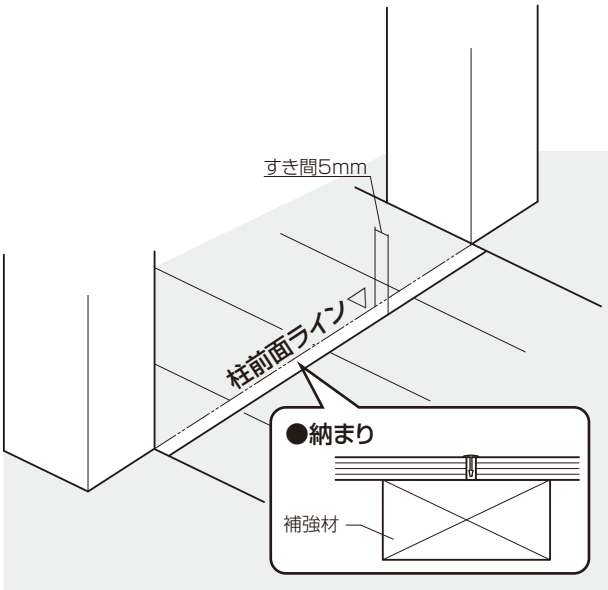
2 床の施工

床施工上のお願い

●下枠を正しく施工するため、床を見切る場合は以下を守ってください。
・指定の位置で見切ってください。
・補強材を入れてください。

●床を見切る場合は下図の位置にすき間をあけて床材を張ります。

■薄床見切り



3 縦枠下地材の取付け

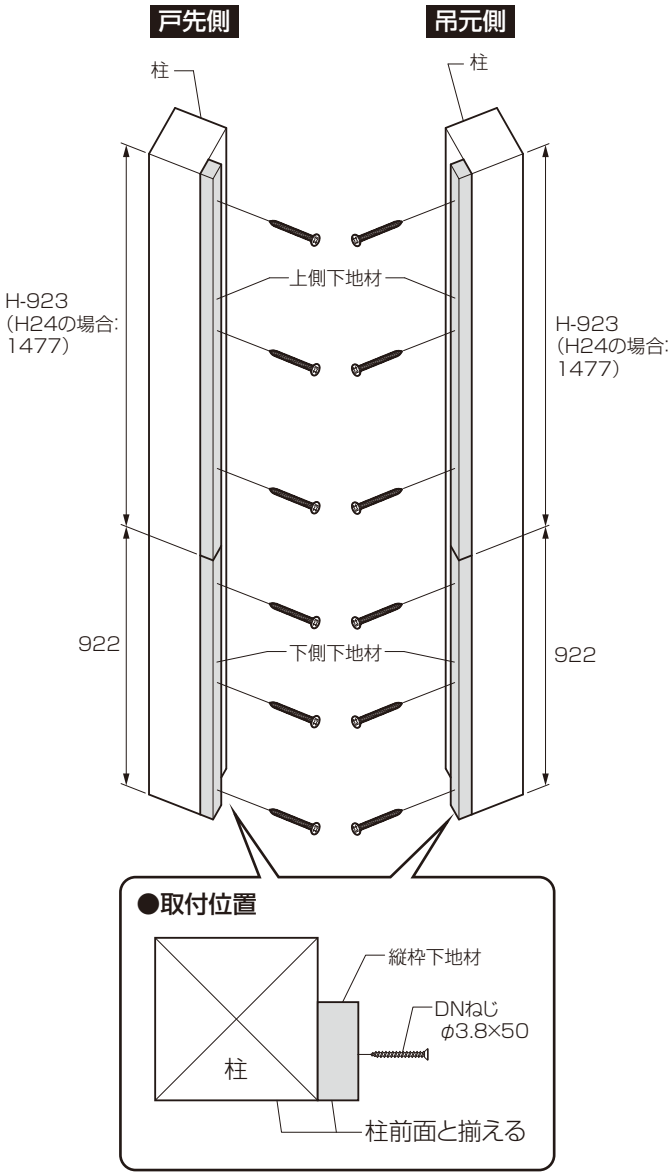
縦枠下地材取付け上のお願い

●縦枠を正しく施工するため、取付前に下地材長さを確認し、上側・下側を間違えないでください。

①柱の前面に合わせて922mmの下側下地材を柱にねじで固定します。
②柱の前面に合わせて上側下地材をねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
DNねじ φ3.8×50	12

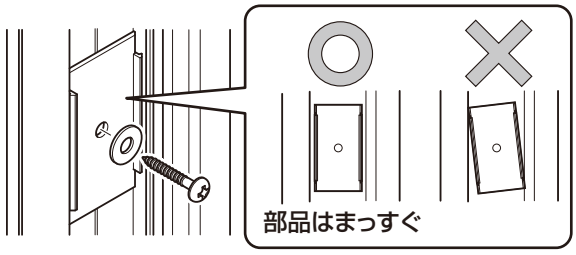


※縦枠の躯体固定ねじ穴と重ならない位置で固定してください。

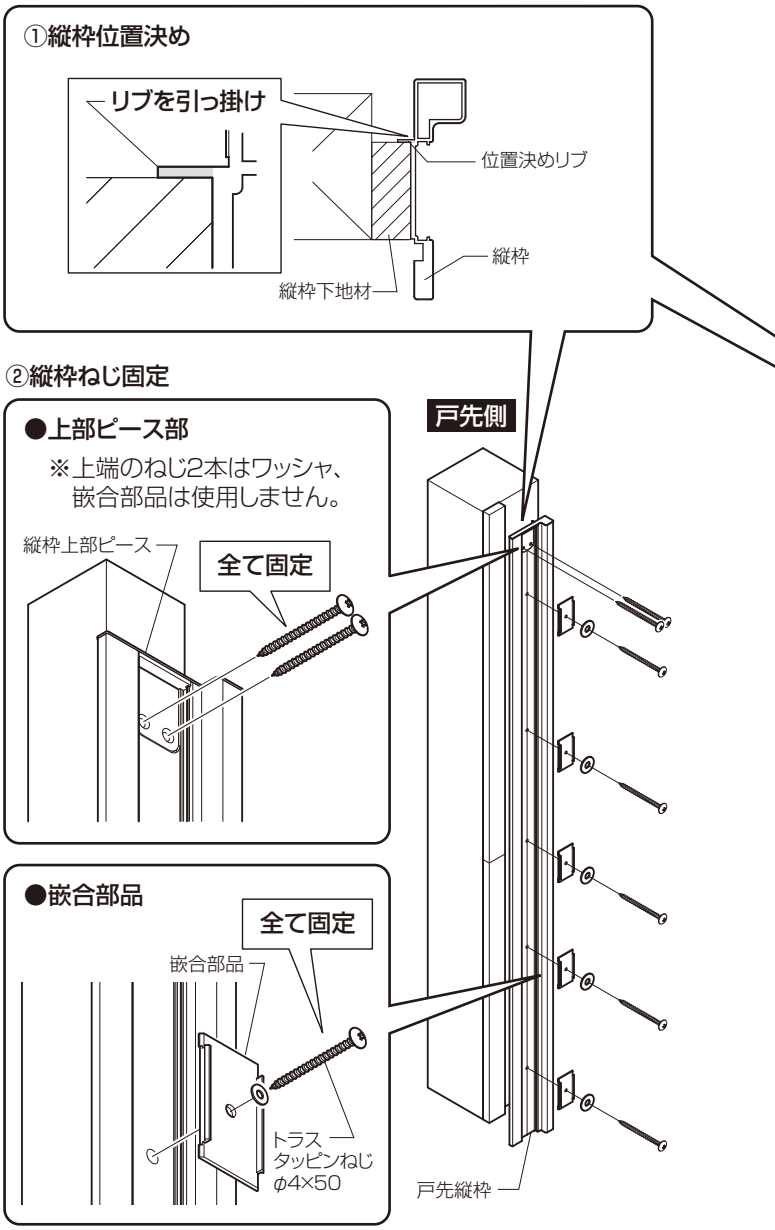
4 縦枠の取付け

縦枠取付け上のお願い

●縦枠カバー取付不良防止のため、嵌合部品はまっすぐ取り付けてください。

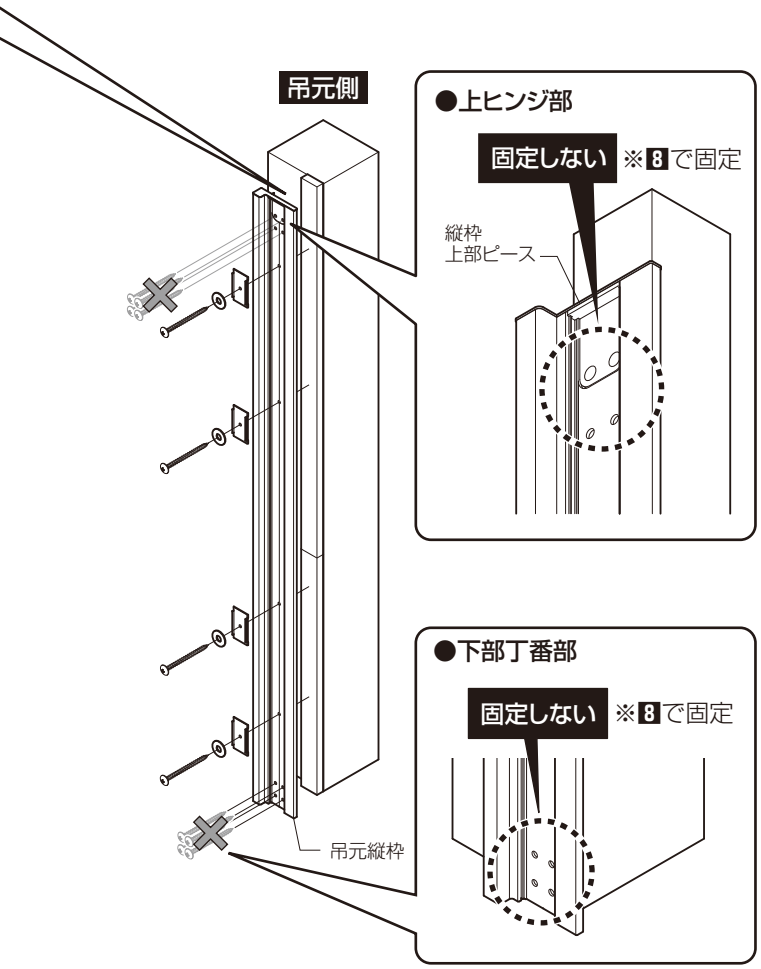


①縦枠のリブを下地材にひっかけて位置を決めてください。
②縦枠をねじで固定してください。
　上端：ねじのみ
　躯体固定部：嵌合部品、ワッシャと共締め



■縦枠用部品セット

部品名	数量
トラスタッピンねじ φ4×50	11
ワッシャ	8
嵌合部品	8



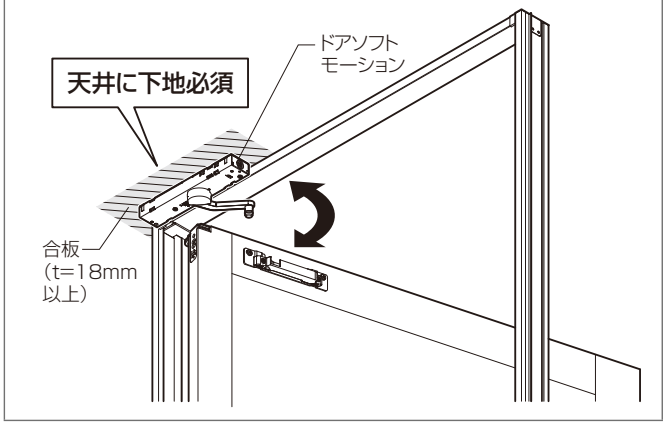
5 天井ボードの施工

天井ボード施工上のお願い

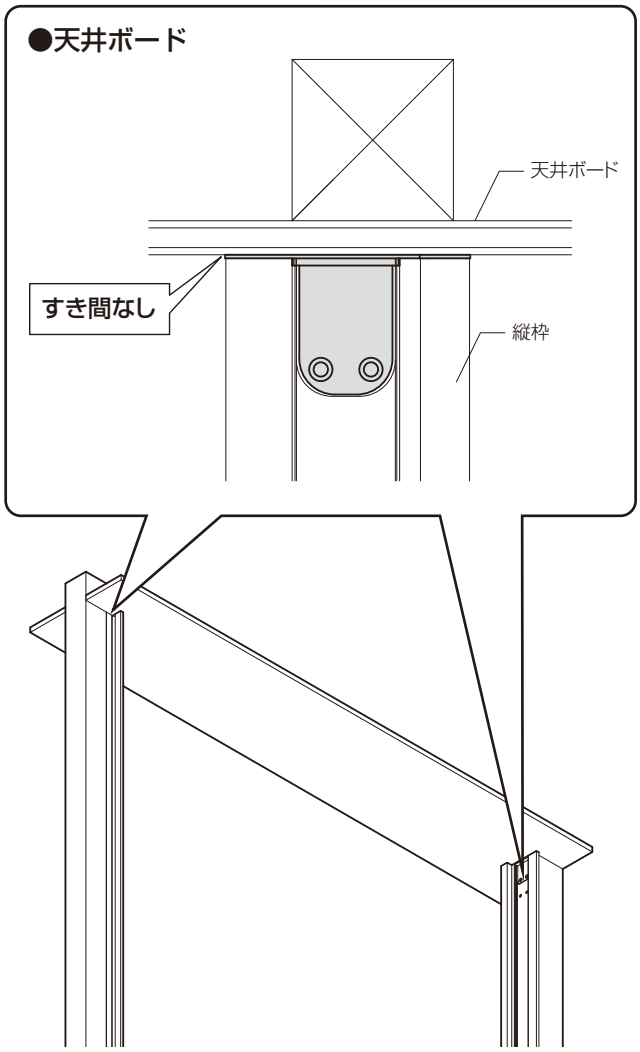
●外観不良防止のため、天井ボードは縦枠に合わせてすき間ができないように施工してください。

【ドアソフトモーション取付け部】

●部品を固定するため、合板t=18mm以上の下地材をいれてください。



●縦枠との間にすき間があかないよう天井ボードを取り付けてください。



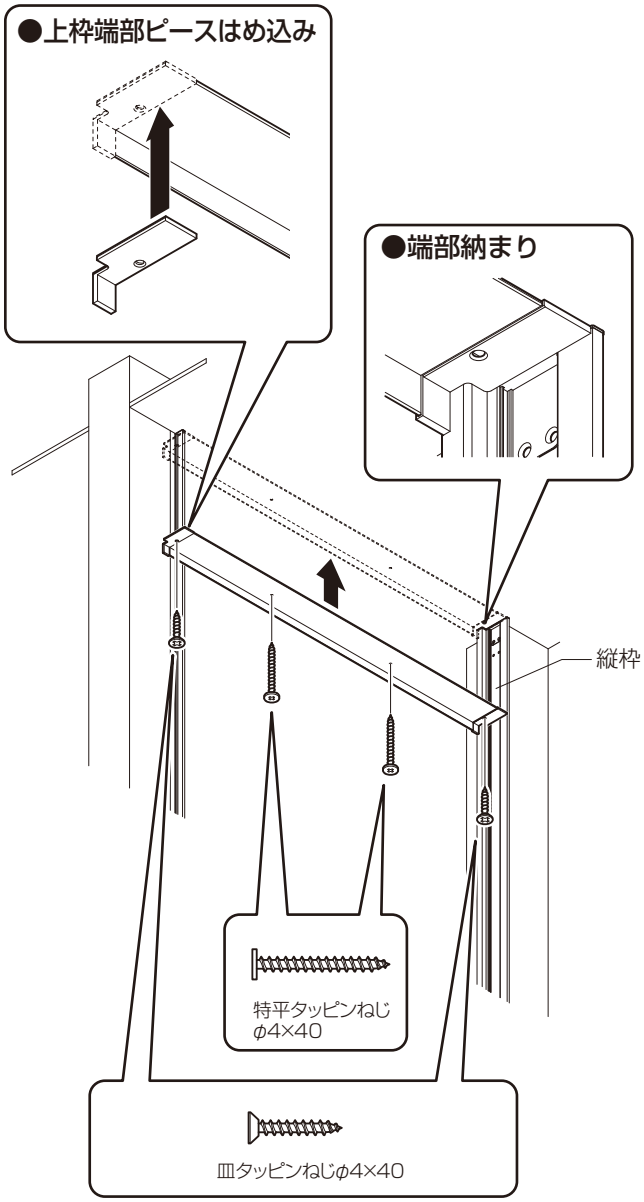
6 上枠の取付け 三方枠仕様時のみ

上枠取付け上のお願い
●上枠を正しく取り付けるため、先に天井を施工してください。

①上枠端部ピースを上枠にはめ込みます。
②上枠を指定のねじで固定します。
　端部は指定のねじで上枠端部ピースと共締めします。

■上枠部品セット

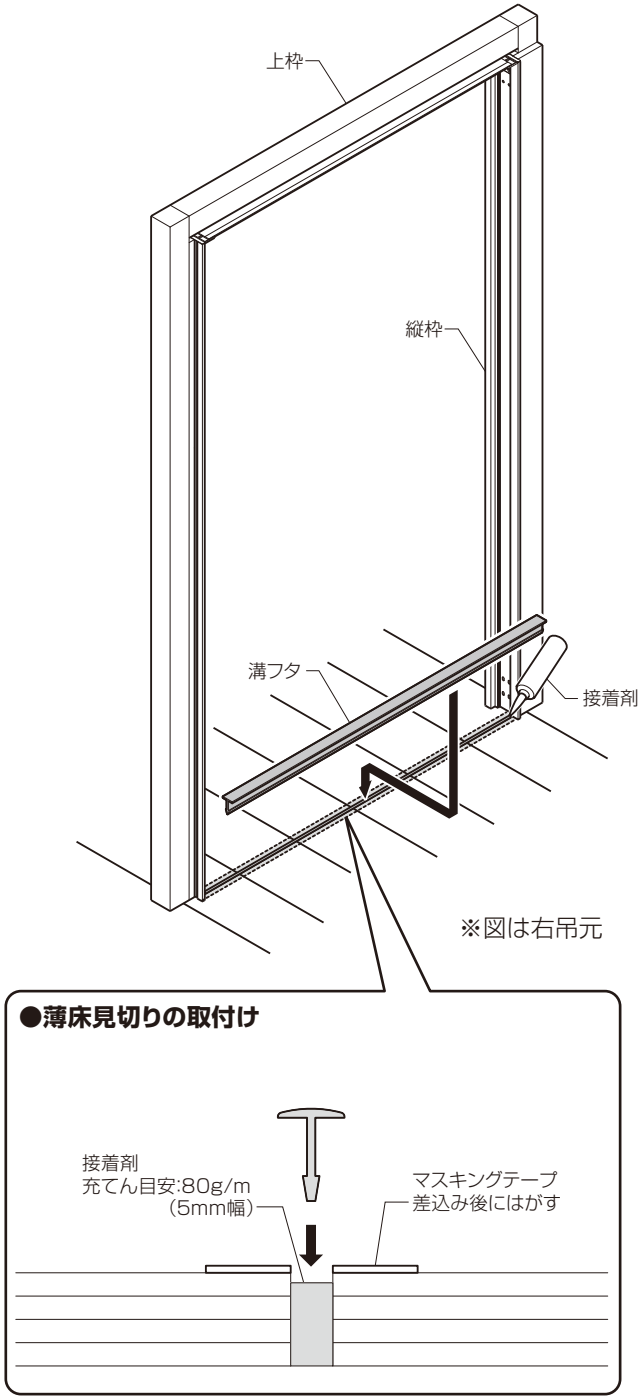
部品名	数量
皿タッピンねじ φ4×25（26年10月以降長さ40mmに順次切替）	2
特平タッピンねじ φ4×35（26年10月以降長さ40mmに順次切替）	3 （1本は予備）



7 薄床見切りの取付け

薄床見切り取付け上のお願い
●床見切り材のはがれ防止のため、下記事項をお守りください。 ・２液タイプのエポキシ樹脂接着剤（現場手配）を使用してください。（硬化時間30分以上） ・１mあたり約80gの接着剤を充てんしてください。 ●床の汚れ防止のため、必ずマスキングをして接着剤（現場手配）を充てんしてください。

①床のすき間の両側にマスキングをし、エポキシ樹脂接着剤（現場手配）を充てんしてください。
②床見切り材を差込み、マスキングをはがしてください。
※はみ出た接着剤は必ずふき取ってください。



8 縦枠への部品取付け

⚠注　意

●下ヒンジは床に接地させてください。
本体脱落のおそれがあります。

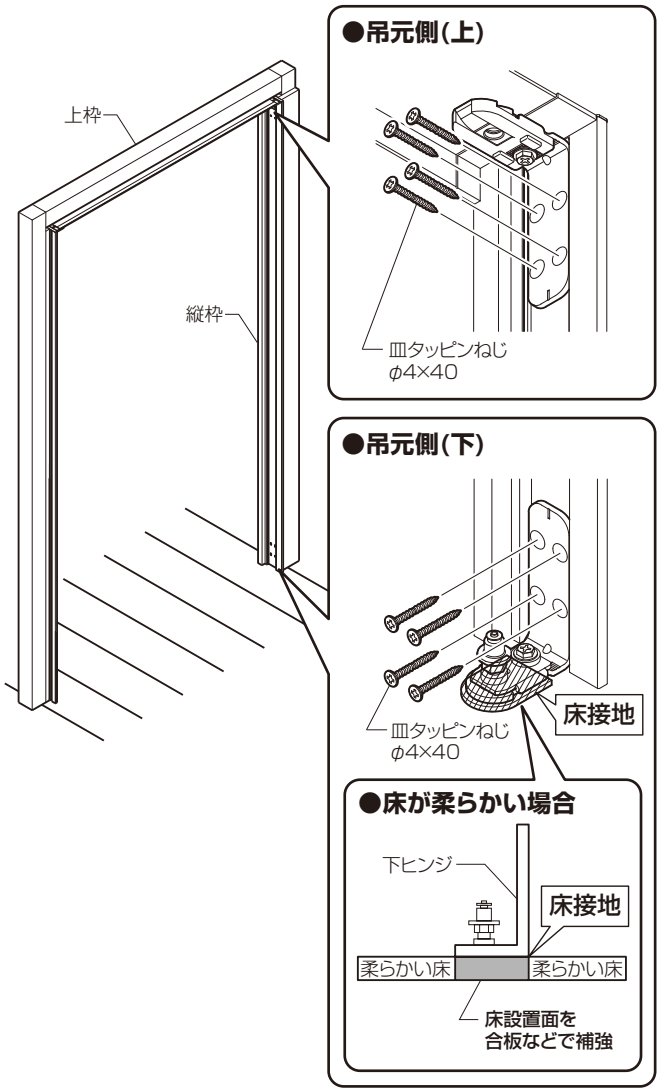
縦枠への部品取付け上のお願い

●開閉不良防止のため、柔らかい床(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)には接地しないでください。

●枠側ヒンジを同梱のねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
枠側上ヒンジ	1
枠側下ヒンジ	1
皿タッピンねじ φ4×40	8

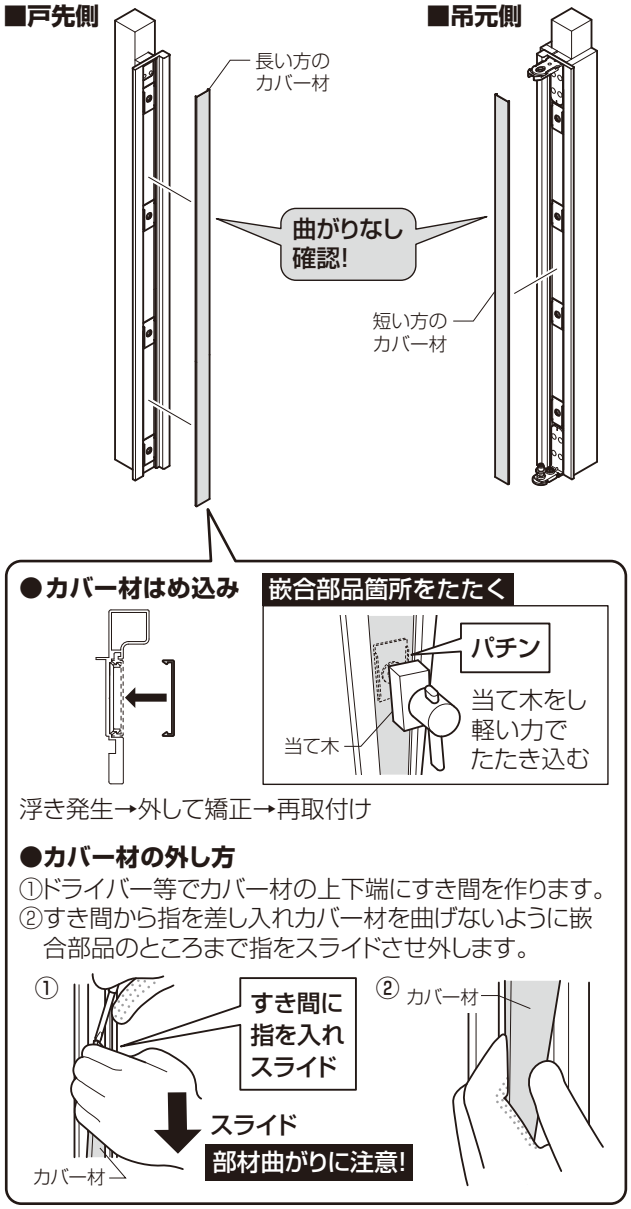


9 縦枠カバー材の取付け

縦枠カバー材取付け上のお願い

●浮き防止のため、縦枠カバー材に曲がりがないか確認して取り付けてください。
※曲がっている場合手でまっすぐに戻してから取り付けてください。

①長い方のカバー材を戸先側縦枠にはめ込みます。
②短い方のカバー材を吊元側縦枠にはめ込みます。
※カバーをはめた後、嵌合部品間で浮きがある場合、曲がりがありますので一度取外し、カバーを手でまっすぐに矯正して取り付けてください。

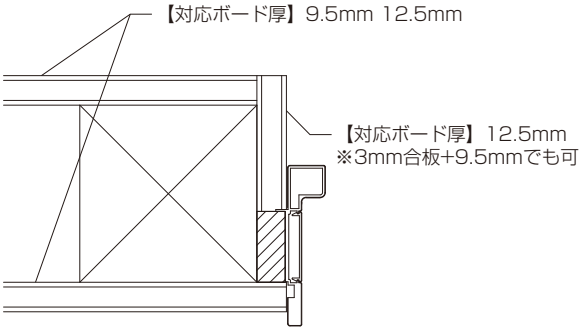


ラフィス
室内ドア ライン枠
縦枠カバー材取付け
&取外し方法

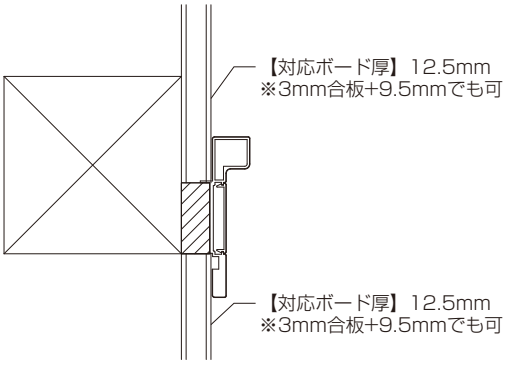
10壁面ボードの施工

●以下の配置で壁面ボードを施工してください。

平入納まりの場合



両入納まりの場合



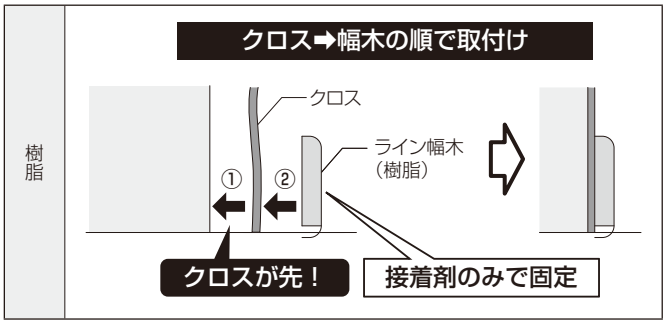
11幅木の施工

ライン幅木施工上のお願い

●ライン幅木(樹脂)がはがれるので、必ず壁紙の上からソフト幅木用接着剤(※)で張り付けてください。
※ビニル共重合系溶剤形、アクリル樹脂系エマルジョン形または合成ゴム系溶剤形接着剤(JIS A 5536 認定品)

■ライン幅木(樹脂)

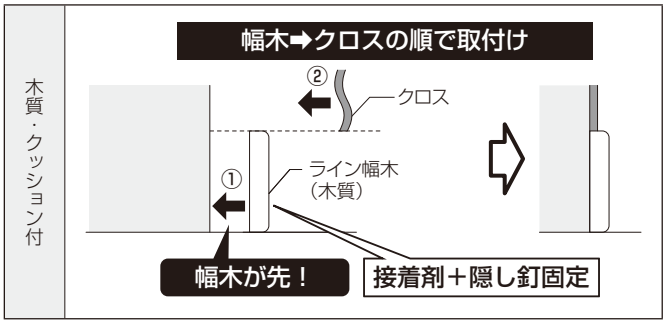
①壁面ボードに壁紙を施工します。
②壁紙の上から専用接着剤(現場手配)でライン幅木を張り付けてください。



ラフィス
ライン幅木(樹脂)
施工説明動画

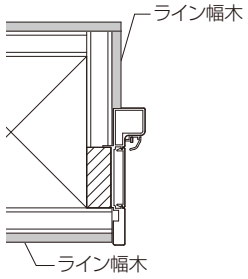
■ライン幅木(木質)/ライン幅木(クッション付)

①壁面ボードを施工します。
②ライン幅木の裏面全体に専用接着剤(現場手配)を塗布して張り付けてください。
③隠し釘、またはピンタッカー(200～300ピッチ)で固定します。

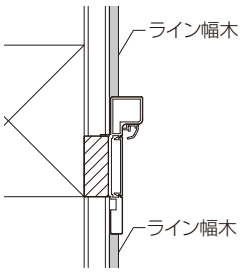


■ライン幅木の納まり

【平入り納まり】



【両入隅納まり】



⑫本体の吊込み

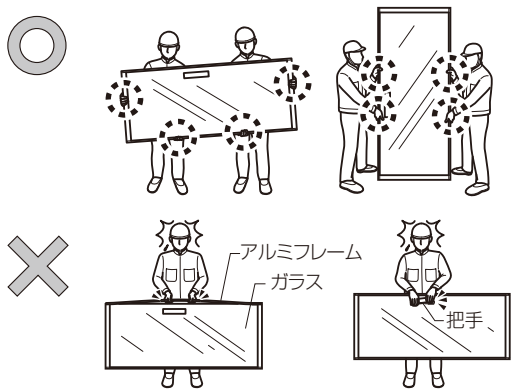
⚠注　意

●本体脱落のおそれがあるため下記事項をお守りください。
・上ヒンジの軸は枠ヒンジの穴に差込んでください。
・脱落防止カバーは上ヒンジの軸の溝に合わせて取り付けてください。

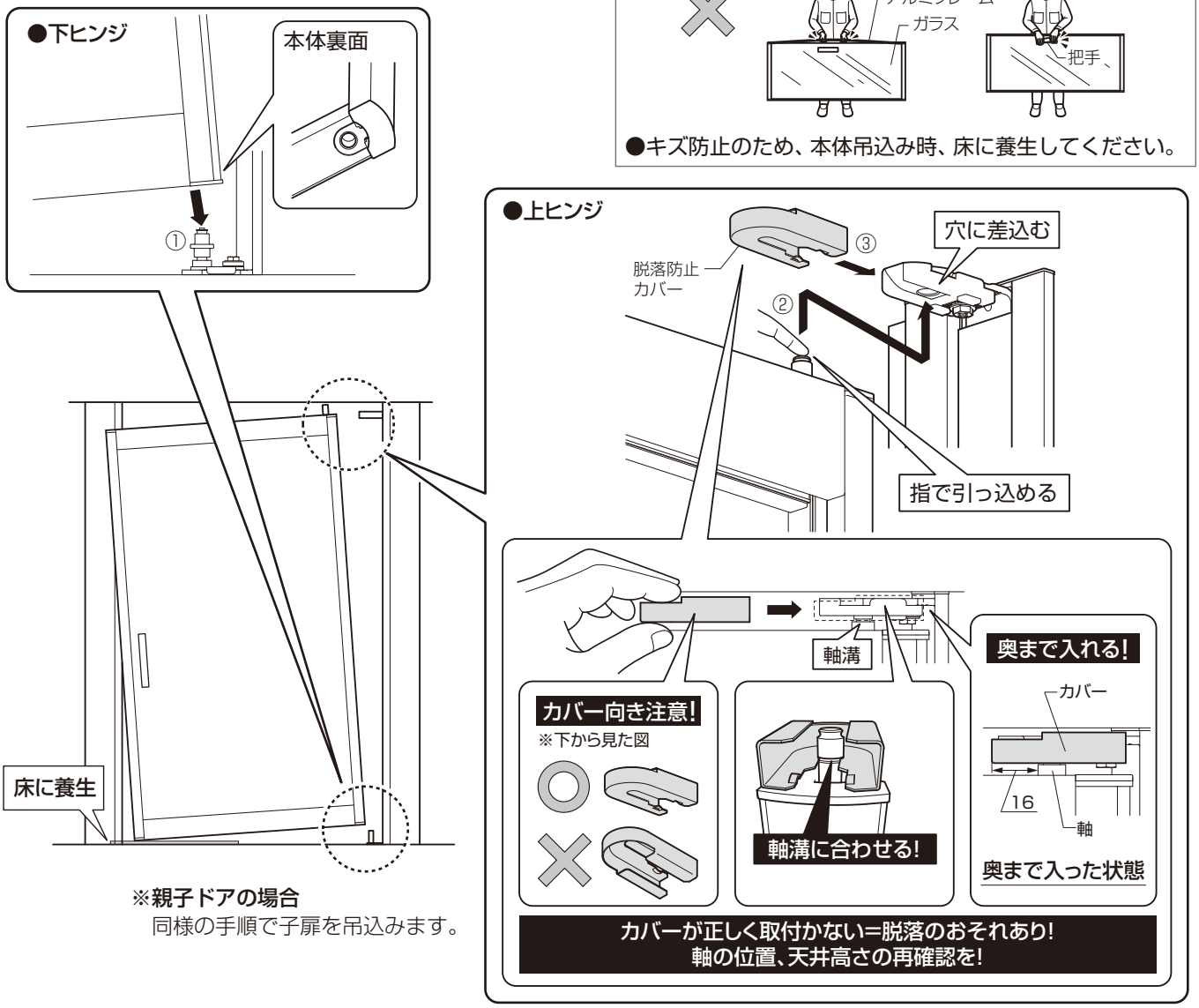
①枠側下ヒンジに本体を差込みます。
②本体上の軸を枠側上ヒンジに差込みます。
③脱落防止カバーを枠側上ヒンジに取り付けます。

本体吊込み時のお願い

●アルミフレーム・把手を持つとガラスから外れます。
一度外れるともとには戻りません。ガラスを下から支えるように持ってください。



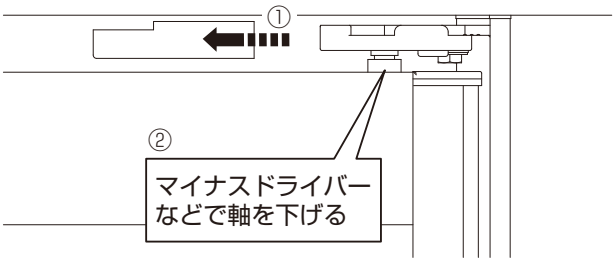
●キズ防止のため、本体吊込み時、床に養生してください。



※親子ドアの場合
同様の手順で子扉を吊込みます。

●本体の外し方

①脱落防止カバーを外します。
②上ヒンジの軸をマイナスドライバーなどで押し下げてください。
③上ヒンジを枠側から外します。



⑬建付け調整

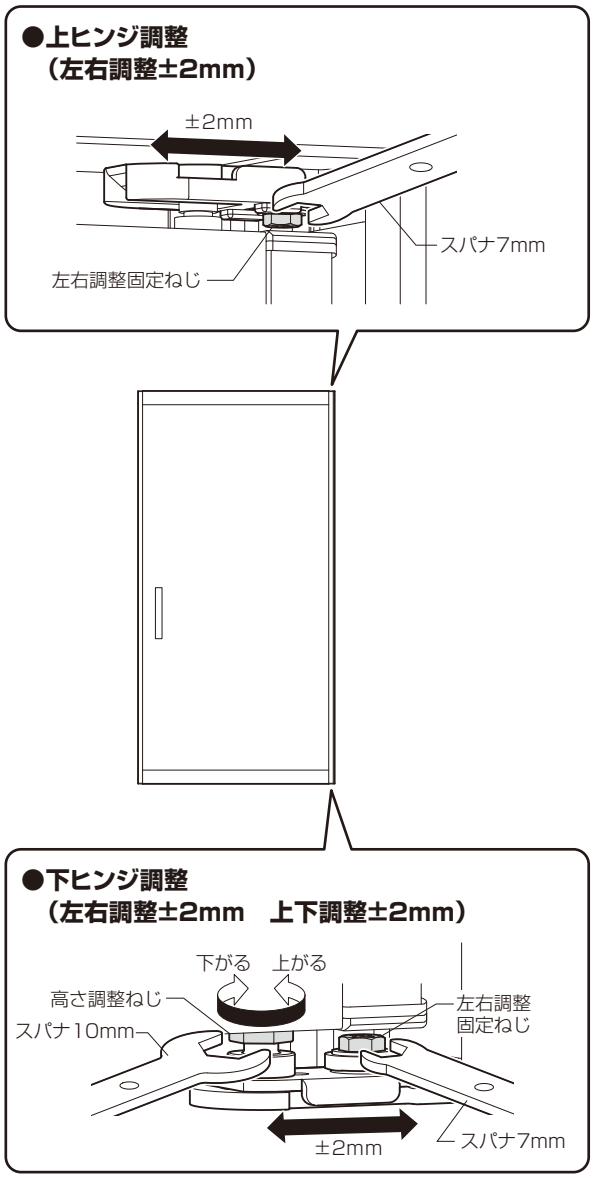
建付け調整時のお願い
●市販のスパナでは調整しにくいので、同梱のスパナをご使用ください。 ※調整用スパナは、調整後は必ずお施主さまにお渡しください。

●左右調整（上下ヒンジ共通）

①上ヒンジのカバーを外してください。
②固定ねじをスパナでゆるめて軸を左右に動かしてください。
③位置を調整して、固定ねじを締めてください。

●上下調整（下ヒンジのみ）

①上下調整ねじをスパナで回して高さ調整してください。



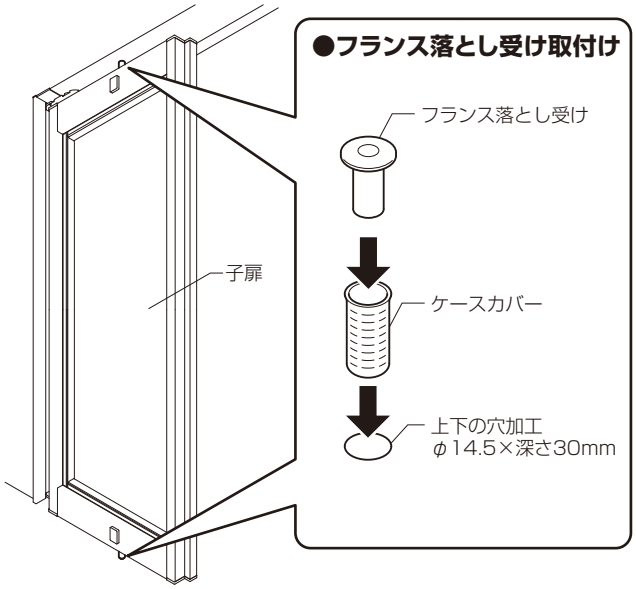
⑭フランス落とし受けの取付け ※親子ドアのみ

フランス落とし受け取付け上のお願い
●フランス落としの位置を合わせるため、建付け調整後に取付けてください。

①子扉上下のフランス落としの軸位置にマーキングしてください。
②床と天井にφ14.5×深さ30mmの穴をあけます。
③開けた穴にケースカバーを差込んでください。
④ケースカバーにフランス落とし受けを差込みます。

■縦枠部品セット

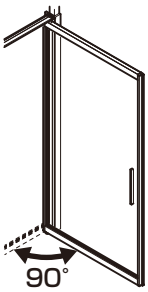
部品名	数量
フランス落とし受け	各2



15ドアストッパーの取付け

ドアストッパー取付け上のお願い

●作動不良や製品不良防止のため、下記事項をお守りください。
・ドアストッパーは本体を90°開いた位置に必ず取り付けてください。
・軟質床材へは取り付けないでください。
・ドアの建付け調整をしてから取り付けてください。
【外付けドアストッパーの場合】
・床とストライクのすき間を3.5～5mmに調整してください。



【シークレットドアストッパーの場合（標準仕様）】

●シークレットドアストッパー（床側部品）に同梱の取付説明書を参照してください。

【外付けドアストッパーの場合（本体：特別仕様対応）】

■本体側部品の取付け

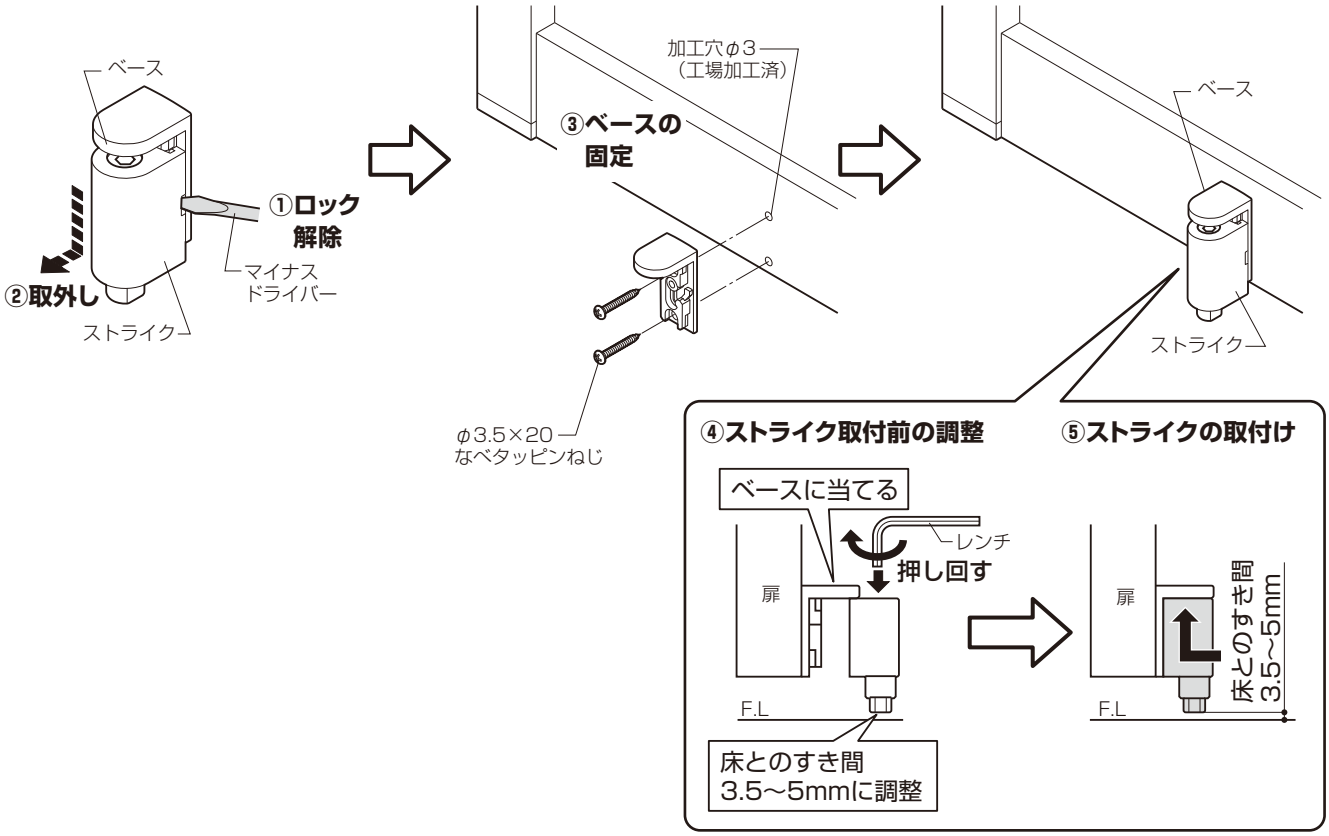
①ストライク右側のくぼみにマイナスドライバーを差込みます。（ロック解除）
②マイナスドライバーを差込んだままストライクを**下にスライドさせて**取り外します。
③本体下部の加工穴（工場加工済）にベースを同梱のねじで固定します。
※外付けドアストッパーに同梱の取付説明書に記載の**下穴加工は不要**です。
④ストライクの下端と床のすき間が3.5～5mmになるように調整してください。
⑤ストライクをベースに取り付けます。

■床側部品の取付け

●外付けドアストッパーに同梱の取付説明書を参照してください。

■取付後の調整

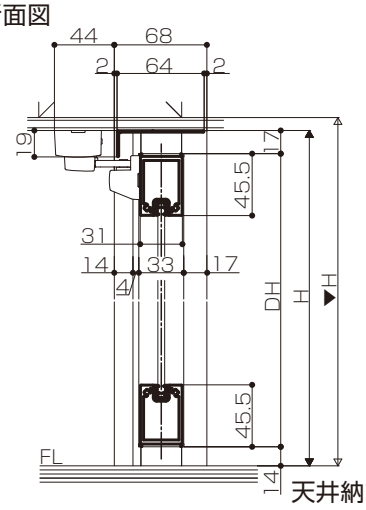
●外付けドアストッパーに同梱の取付説明書を参照してください。



■納まり図

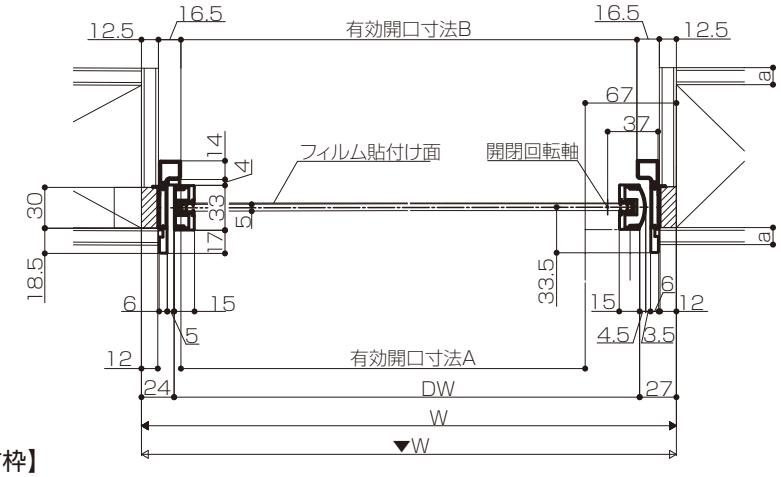
■標準ドア

縦断面図

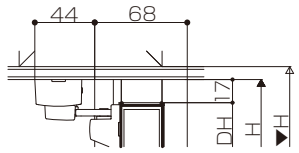


天井納まり【三方枠】

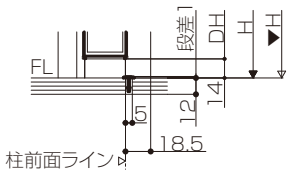
横断面図



対応壁面ボード厚a:9.5mm、12.5mm



天井納まり【上枠なし】



薄床見切り納まり

有効開口寸法

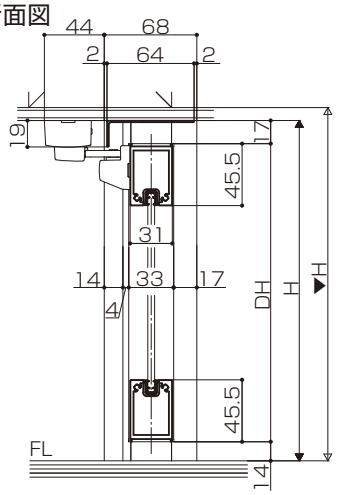
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W065(754)	658	696
W07(805)	709	747
W08(824)	728	766

H呼称(枠外寸法)
H24(2400)

算出式：A寸法=W-96
B寸法=W-58
DW寸法=W-51

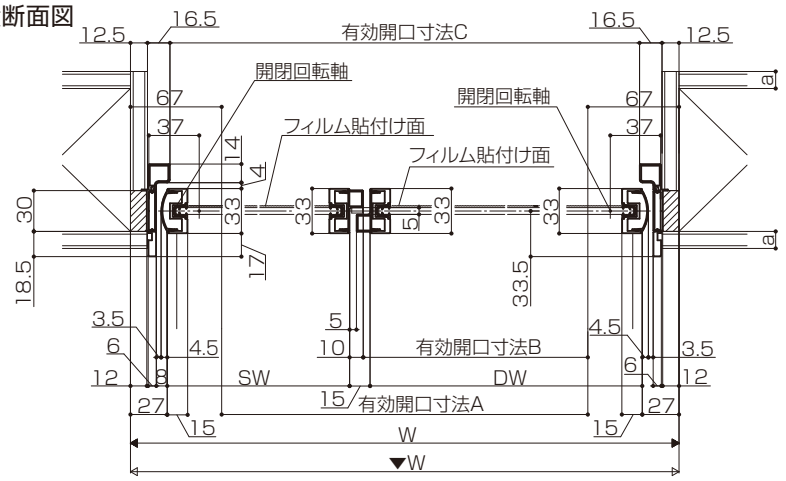
■親子ドア

縦断面図

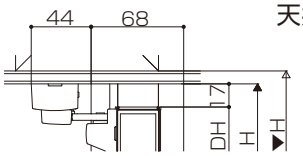


天井納まり【三方枠】

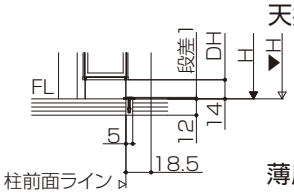
横断面図



対応壁面ボード厚a:9.5mm、12.5mm



天井納まり【上枠なし】



薄床見切り納まり

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12(1188)	1054	719	1130

H呼称(枠外寸法)
H24(2400)

算出式：A寸法=W-134
B寸法=W-104-SW
C寸法=W-58
SW寸法=W-69-DW
DW寸法=W-434